

登録コード	SC801400	開講年度	2026				
授業題目	セミナー				担当教員	太田 哲	
英文授業名	Seminar				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
					備考	必修 ◇担当教員：化学コース全教員	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】	
		2 6 S カリ, 2 5 S カリ, 2 4 S カリ, 2 3 S カリ					
		【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識			⇔	化学における専門知識を得ることができるようになる。	
		【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力			⇔	専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力を得ることができるようになる。	
		【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力			⇔	化学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力を得ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」		その他					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		毎回、各自が自ら選んだテーマに従って文献を調査・講読し、簡潔にまとめ発表する。					
(5)授業のキーワード		ディプロマポリシー（DP）における項目 全学DP：言語能力、情報活用力、問題発見・解決能力、普遍的・数量的理解力 学部DP：自然科学の基礎知識 学科DP：化学の基礎的知識、化学の発展的知識					
(6)授業計画		分析化学、無機化学、物理化学、有機化学の分野ごとに開催するので、分野ごとに担当教員から事前に授業計画の説明を受けること。 （最後の15分で授業アンケートを行う）					
(7)成績評価の方法		最新の外国語文献の調査、読解、説明を通して、化学的な専門知識、文献の読解力、化学の専門知識を自ら説明・表現する能力がどの程度身に付いたかを評価する。					
(8)成績評価の基準		授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」					
(9)事前事後学習の内容		今までに学んだ化学の知識や理論をもとに、事前に文献をよく読み込んでおくこと。独自に発表練習をすること。					
(10)履修上の注意		指導教員の指示を参照のこと					
(11)質問,相談への対応		指導教員の指示を参照のこと					
【教科書】		指導教員の指示を参照のこと					
【参考書】		指導教員の指示を参照のこと					